

3M

Attest™

Sterilization Solutions

動画のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画視聴の補助資料としてご利用ください。

はじめての3M™ アテスト™ オートリーダー490

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

© 2019 3M. All Rights Reserved.



Trust

20年以上にわたる製造販売実績に
基づく信頼の短時間判定BIシステム

世界37カ国で
BIを販売



累計8億5千万回を
超える滅菌工程を保証してきました





Faster Result



わずか24分の培養でBIの判定が可能です
判定時間が短くなったことにより
器材の使用前に判定を確認できます

Any-Well Technology

高圧蒸気滅菌も過酸化水素ガス滅菌も
1台のオートリーダを用いて判定が可能
別々に専用機を用意する必要はありません



同梱物をご確認ください



☑ オートリーダー 本体



☑ 電源プラグ



☑ ハンドクラッシャー



☑ LANケーブル



☑ 取扱説明書



☑ ウェブアプリケーション接続方法



☑ 保証書



☑ 不織布マット

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

オートリーダーの設置場所の選定

3M™ アテスト™ オートリーダー490は安定した水平面に設置してください

! 装置を以下のような環境には設置しないでください

- 日光または強い白熱ランプに曝される環境
- 強い電磁場を放つ装置の近く
- 振動面上や不安定な場所
- 16~40℃を外れるような温度環境



付属の不織布マットを敷いてガタツキがなく、水平に置かれていることをご確認ください

不織布のマットは凸凹した面を上に向けて設置ください

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

オートリーダーの使用準備

3M™ アテスト™ オートリーダー 490に付属の電源プラグを適切なアース付きコンセントに接続してください
液晶画面が「C1」表示に切り替わったことをご確認ください
培養器のウォームアップ(昇温)に約30分間かかります
適切な培養温度に到達すると「C1」表示は消えます
いつでもBIの培養が開始できるようオートリーダーの電源は常時にONにしておくことを推奨いたします



BIの培養を開始する前に
電源投入後30分程度の
ウォームアップが必要です。



ウォームアップが完了すると
“C1”の表示が消えます



© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

各種ボタン、情報ディスプレイの説明



© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

アラーム機能の設定

初期設定ではオートリーダーにエラーが生じた際や、BI判定陽性の際にアラームが鳴るよう設定されています

アラームは  ボタンを押すことで消すことができます

設定変更画面からアラームが鳴らない設定に変更することも可能です

※設定方法の詳細は取扱説明書の”3M™アテスト™オートリーダー490 の設定”を参照ください

アラームが「ON」の設定時の液晶画面表示（「OFF」の設定時は空欄）



© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

対象インジケータ

高圧蒸気滅菌用

ハイスピード高圧蒸気滅菌用



3M™ アテスト™
超短時間判定用生物学的
インジケータ1491



3M™ アテスト™
超短時間判定用生物学的
インジケータ1492V



3M™ アテスト™
超短時間判定用PCD
1496V/VF



3M™ アテスト™
超短時間判定用PCD
41482V/VF

過酸化水素ガス滅菌用



3M™ アテスト™
短時間判定用生物学的
インジケータ1295

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

インジケータの適用範囲

STEAM

適用範囲

132~135°C 4分間以上のプレバキューム式蒸気滅菌工程

適用外

重力置換式蒸気滅菌工程

132°C~135°C以外のプレバキューム式蒸気滅菌工程

フラッシュ滅菌工程 (ハイスピード滅菌工程)

乾熱滅菌工程、ケミクレーブ滅菌工程、エチレンオキシド

またはその他の低温滅菌工程



1492V



1496V



41482V

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

インジケータの適用範囲

STEAM

適用範囲

132~135°C 3分間以上のフラッシュ (ハイスピード) 滅菌工程

適用外

全てのプレバキューム式蒸気滅菌工程

132°C~135°C以外のフラッシュ滅菌工程

乾熱滅菌工程、ケミクレーブ滅菌工程、

エチレンオキシドまたはその他の低温滅菌工程



1491

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

インジケータの適用範囲

VH202



1295

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

ステラッド® 100NX® / NX® / 100S
 ステラッド® NX with ALLClear™ テクノロジー
 ステラッド® 100NX with ALLClear™ テクノロジー

サクラ精機株式会社 / ステリス ジャパン株式会社

Amsco® V-PRO® maX / V-PRO® 1 Plus / V-PRO® 1

キヤノンライフケアソリューションズ株式会社

スピード低温滅菌システム ES-700 / ES-700 i / ES-1400

メディア株式会社

RENO-S20 / RENO-S30 / RENO-S90
 RENO-S130 / RENO-S130D

株式会社エムエス

HMTS-80E / HMTS-142 / HMTS-142D

ステラッド、100NX、NX、ALLClearはジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の商標です。Amsco、V-PROはSteris社の商標です。

© 2019 3M. All Rights Reserved.



BIの使用法

包装形態

設置場所

高圧蒸気滅菌



OR



AAMI ST79に準じたPCD

同等性能のディスプレイ品



ドレインの直上

ハイスピード滅菌



無包装のまま使用する



器材の近傍

過酸化水素ガス滅菌

過酸化水素ガス滅菌に対応した滅菌パウチで包装



適切な配置

不適切な配置



白色面が上



フィルム面が上

置き場所は滅菌器・サイクル条件毎に異なる ※次ページ参照

© 2019 3M. All Rights Reserved.



過酸化水素ガス滅菌用BI(3M™ アテスト™ 短時間判定用生物学的インジケータ1295)の主要滅菌器での設置場所

メーカー	滅菌器モデル	滅菌サイクル	BIの設置場所
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	ステラッド® 100S	ショートサイクル	滅菌チャンバー下段の手前
		ロングサイクル	
	ステラッド® 100NX® ステラッド® 100NX with ALLClear™ テクノロジー	スタンダードサイクル	滅菌チャンバー下段の奥
		Duoサイクル	
		Flexサイクル	滅菌チャンバー上段の奥
		エクスプレスサイクル	
ステラッド® NX® ステラッド® NX with ALLClear™ テクノロジー	スタンダードサイクル	滅菌チャンバー下段の奥	
	アドバンスドサイクル		
サクラ精機株式会社/ ステリスジャパン株式会社	Amsco® V-PRO® maX	ルーメンサイクル	棚2つ使用時:最上段の真ん中 棚1つ使用時:棚の手前
		ノンルーメンサイクル	
	Amsco® V-PRO® 1 plus	フレキシブルサイクル	
		ルーメンサイクル	
Amsco® V-PRO® 1	ノンルーメンサイクル		
キャノン ライフケアソリューション 株式会社	スピード低温滅菌システム ES-700	標準モード	滅菌チャンバー下段の手前
		ソフトモード	
		標準モード	
	スピード低温滅菌システム ES-700i	ソフトモード	
		ショートモード	
		標準モード	
	スピード低温滅菌システム ES-1400	ソフトモード	
		標準モード	
		ショートモード	

ステラッド、100NX、NX、ALLClearはジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の商標です。Amsco、V-PROはSteris社の商標です。

© 2019 3M. All Rights Reserved.



滅菌したBIの培養をおこなう前に

BIの培養をおこなう日は必ず1本のコントロール用BI(未滅菌BI)の培養を実施ください

※滅菌処理がされていないBIを同時に培養することで、以下のことを確認することができます

1. 培養温度が適切であったこと
2. 保管条件などにより、芽胞の状態や菌数に変化が発生していないこと
3. 培養液の性能に変化が生じていないこと
4. オートリーダーの機能が適切であること

※コントロール用BIは、滅菌処理済みのBIと同じロットのBIでBIの種類ごとに使用してください

© 2019 3M. All Rights Reserved.

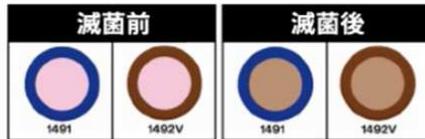


BIの培養手順

高圧蒸気滅菌用



滅菌器から取り出したあと
10分程度室温で
冷ましてください
キャップのCIの変色を
確認ください
滅菌終了後5日以内に
培養を開始してください



過酸化水素ガス滅菌用



キャップのCIの変色を
確認ください
滅菌終了後1時間以内に
培養を開始してください



© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

BIの培養手順

滅菌済みBIをハンドクラッシャーに装着し、蓋を上向きにして素早く握り込みます。
ハンドクラッシャーは最後までしっかりと握ってください。
不十分な握り込みでキャップの押し込みが甘いとオートリーダーがエラーを出します。

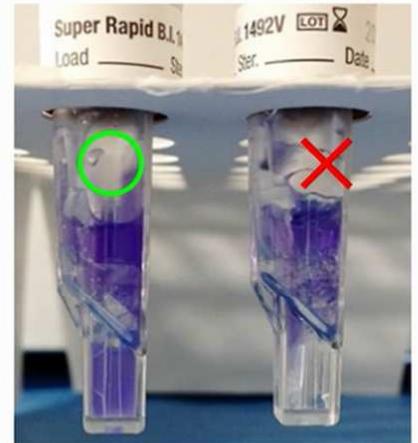


© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

BIの培養手順

よく振って



写真左側のように底まで培地が到達していることを確認

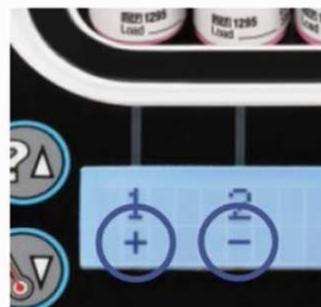
© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

BIの培養手順



BIを培養ウェルに差し込んでください。
「***」→「**」→「*」と表示された後
「24」と表示されることを確認ください。



培養後ディスプレイに判定結果が表示されます。
(陽性:「+」、陰性:「-」)
判定結果が表示されるまでBIを取り出さないでください。



BIの陽性判定が示された場合に、同じBIを別のウェルに差し替えて再度判定を行うことは、オートリーダーの判定原理上できません。
オートリーダーによるBIの判定は一回目の培養のみ有効です。

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

培養液の色変化による判定

BIが陽性(指標菌が生存)の場合
培地および/または不織布素材が
紫から黄色への変色



継続培養

インジケータの種類	培養温度	判定時間
● 高圧蒸気滅菌用	60℃	48時間
● ハイスピード滅菌用	60℃	24時間
⊖ 過酸化水素ガス滅菌用	60℃	7日間



培養液の色変化による判定は何らかの原因(停電、故障等)でオートリーダーによる短時間判定が確認できなくなった場合に実施いただくための補助的な判定方法です。
日常的には短時間判定のみで判定を行い、色変化による判定を実施いただく必要はありません。

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

定期メンテナンスサービスについて

- ◆ 年1回の器械のメンテナンス(定期点検)サービス
滅菌保証の信頼性を保つためにも実施を強く推奨しています。
- ◆ 点検内容: 温度制御および光学判定機能の確認と較正
- ◆ 料金: 25,000円
- ◆ 初回点検の無償実施
購入後1年目の点検は、メーカー保証の範囲内として無償で実施します。

メーカー保証: 1年間

保証内容: 初期不良もしくは故障が疑われる器械の点検、および故障器械の修理・部品交換
※保証書にご記入の上、返送いただいていることが条件となります。

© 2019 3M. All Rights Reserved.

3M

【本資料のお取扱いについて】

事前に当社による承諾を受けた場合を除いて、コンテンツ・情報（データ）またはそれらに包含される内容（一部あるいは全部を問わず）を院内教育及びそれに準じる目的のみで利用するものとし、当該目的以外で複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、使用許諾、転載、再利用しないことに同意するものとします。

詳しくは、https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/company-jp/legal-information/をご覧ください。

ご不明な点等ございましたら、3mhc.jp@mmm.com までメールにてお問合せください。

3M Science.
Applied to Life.™